

2009年10月1日

報道関係各位

筑波大学 G-COE サイバニクス

筑波大学とデンマーク工科大学 人支援ロボティクス技術の共同研究で提携 山海教授が進めるサイバニクス拠点と Lund 教授の Center for Playware の提携により 新たな人支援ロボティクス技術の発展を狙う

筑波大学サイバニクス拠点（茨城県つくば市天王台 1-1-1 山海嘉之教授・グローバル COE 拠点代表）は 2009年10月1日、在日デンマーク大使館にて Center for Playware (Building 325 Technical University of Denmark (デンマーク工科大学) Henrik Hautop Lund 教授)と人支援ロボティクスとプレイウェア領域における共同研究を通じ、サイバニクス^{注1}関連分野の教育研究、技術者育成に関する提携を行いました。

筑波大学が中心となって進めている人間・ロボット・情報系の融合領域であるサイバニクス分野の教育研究においては、人／人間社会と各種先端テクノロジーから法律・倫理・経営の連携・融合を中核とした教育研究活動を行っています。デンマーク工科大学は、エンタテインメント／リハビリテーションに関わるプレイウェア技術の拠点として世界的に知られており、当該分野は人支援ロボティクス技術の重要な応用分野でもあります。

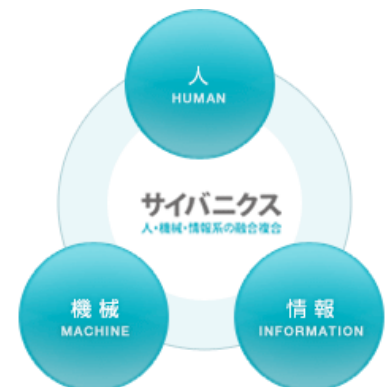
今回の連携により、サイバニクス関連分野の教育研究を協働で行うとともに、研究者交流や学生交流を通じて、人支援ロボティクス技術とプレイウェア技術に通じた高度な研究能力を有する人材育成の機能を持つ人材養成の場を提供することができます。ここでは、ロボット技術（生活支援／人間支援ロボット／基盤技術）、高齢者生活支援技術、ヒューマンインタフェース、ユビキタスコンピューティング／センシング等の分野の共同研究を計画しております。また、デンマークや欧州の他大学を含めた関係が強化され、サイバニクス分野の研究推進、及び人支援ロボティクス技術の新産業創出のために重要な役割を果たします。

以上

注1

筑波大学サイバニクス拠点について

筑波大学サイバニクス拠点は、「人」と「機械（RT：ロボット技術）」と「情報系（IT：情報技術）」の機能的・有機的・社会的融合複合技術の確立を強力に推進し、サイバネティクス、メカトロニクス、情報技術を中核として、IT技術、ロボット工学、脳・神経科学、生理学、行動科学、心理学、法学、倫理学、感性学を融合複合した新しい研究領域「サイバニクス」の創成を目指します。人・機械・情報系の融合複合分野における最先端の実問題を扱う研究現場にて、複眼的視野を持ち新分野を開拓できるサイバニクス分野の人材育成を行います。



このような異分野の融合を必要とする実践現場で、研究と教育、教員と学生、基礎研究と産業創出が協働して成長するスパイラルを形成することで、人材育成と実研究を一体化して推進することを目的としています。これより、人／人間社会と先端テクノロジーから医学・法律・倫理が連携・融合し、技術分野や行政の壁を超えて、「人／人間」と「技術」と「社会」が密接に連携した革新的拠点形成を行い、未来開拓を推進するものです。

本件に関するお問い合わせ先

筑波大学 サイバニクス拠点（グローバル COE プログラム）運営事務局

Tel : 029-853-5630 / Fax : 029-853-7951

web.inquiry@cybernetics.tsukuba.ac.jp